

週刊 タバコの正体

皆さん、タバコの値段を知っていますか。あえて知る必要はないのですが、ほとんどが一箱410円で売られています。タバコの事をきちんと知っている人にとっては、その度に410円も出して病気になるための煙を吸い込むなんて馬鹿げていると思えるのですが、じつは410円のうち264.4円は税金なのです。

下図にあるように、その税金による収益は年間2兆円を超えています。だから、タバコを買えば国や地方に貢献しているように思えます。確かに、タバコを買うだけなら貢献していることにはなりますが、実際はそのタバコを吸い続けますから、病気になる人が増えます。すると、その医療費が増え、療養中の労働力も失うこととなります。それに加え、タバコの火による火事や吸い殻の清掃費用などの出費が加わるので、関連する損失の合計額は6兆円を超えます。

つまり、一見タバコ税が社会に貢献しているようでも、本当はタバコのせいでその3倍もの損失がでていっているのです。2兆円の売り上げに対して6兆円の支出ですから、毎年4兆円の赤字を出し続けています。

日本のために、なんとかしなければならぬと思いませんか。

産業デザイン科 奥田 恭久



平成17年度一般会計繰入歳出決算(財務省ホームページ)、平成17年度地方財政統計年報(総務省ホームページ)より作成

「禁煙推進学術ネットワーク」から

たばこは税負担率が6割を超える商品です。



たばこの価格には国たばこ税、地方たばこ税、たばこ特別税、消費税の4種類もの税金が含まれています。これらを合わせると税負担率は6割を超える商品となっています。

<内訳>

- 国たばこ税：106.04円(25.9%)
- 地方たばこ税：122.44円(29.9%)
都道府県たばこ税：17.20円
市区町村たばこ税：105.24円
- たばこ特別税：16.40円(4.0%)
- 消費税：19.52円(4.76%)

たばこの税負担合計
264.40円/箱
(64.5%)

※一箱410円商品の場合

JT「たばこワールド」から

医療経済研究機構「禁煙政策のありかたに関する研究～喫煙によるコスト推計～(2010年報告)」より作成
注) 図の点線囲み部分(直接費用の「超過介護費」および間接費用の「喫煙時間分による労働力損失」)は、出典では「参考値」として扱われているが、ここでは損失として計上した